

1. はじめに

平成 21 年からの障害者制度改革は 8 年目を迎え、障害者権利条約の履行に関する政府報告がまとめられました。障害者差別解消法は各分野の対応要領・対応指針を作成されて、平成 28 年 4 月から施行されました。また、障害者総合支援法では、施行後 3 年の見直し作業が進められ去年 3 月の閣議で改正案が決まりましたが、私たち中途失聴・難聴者が要望を繰り返していた障害の範囲を巡る見直しは今回の改正案には盛り込まれませんでした。また、意思疎通支援事業については、今までの地域生活支援事業の枠組みが継続されることになり、大きな変化はありませんでした。

このような状況の中、協会は地域での障害者制度改革の推進に注力して、東京都福祉保健局との懇談会や都議会各会派との予算ヒアリングを行い、東京都の要約筆記者派遣事業の拡充、中途失聴・難聴者のコミュニケーション学習の充実、バリアフリーなまちづくりなどを求めてきました。また、協会の社会的活動を強化するため、公益財団法人日本社会福祉弘済会の助成でシンポジウム「聞こえの問題を考える」を開催致しました。日本財団の助成で「豊かなコミュニケーション」指導の手引き〈初級編、中級編、上級編〉を作成しました。また、公益財団法人森村豊明会の助成で「読話テキスト」を作成しました。これらの財団助成事業を実施できたことは、認定 NPO 法人としての協会に対する社会の一定の評価の表れであるとともに、協会の社会的責任をより大きくさせるものであり、自助・共助に加えて新しい公共の担い手としての協会活動を自覚させられた平成 28 年度でした。

2. 協会の対外活動

平成 28 年度の協会の対外活動は、東京都の要約筆記者派遣事業の拡充、コミュニケーション学習の充実を求める行動を中心に進められました。

東京都の要約筆記者派遣事業は「東京都聴覚障害者意思疎通支援事業（広域型行事への意思疎通支援者派遣）運営要綱」に従って実施され、派遣目的の公益性・広域性が強く求められています。その結果、障害者団体の利用が限定され、協会の理事会や専門部の役員会などが対象外となるなど協会活動を大きく制限するものとなっています。事業予算には若干の増加が図られていますが、公益性・広域性を規定する運営要綱の改定はありませんでした。来年度も粘り強く運動をする必要があります。

一方、コミュニケーション学習やバリアフリーなまちづくりに関しては、中途失聴・難聴者手話講習会の継続や東京都手話通訳等養成講習会指導者クラスに中途失聴・難聴者コースの実施などの一定の前進がありました。協会が財団助成や自主事業として実施した「中途失聴・難聴者手話指導者養成事業」は、本来行政が主体となって進められるべき事業です。今年度より、それが東京都の事業として実施されたことは大きく評価できます。

その他、社会への聞こえの啓発活動、会議施設への磁気ループの設置などの解決には区市町村での活動が非常に重要ですので、区市の中途失聴・難聴者組織との連携を進めました。

3. 協会の対内活動と組織強化

3.1 対内活動

協会の対内活動は平成 28 年度事業方針・活動計画に沿って進められました。9 月には船堀タワーホールで第 31 回「東京都中途失聴・難聴者の集い」を開催しました。400 名以上の方の参加があり、現在の協会活動が多くの仲間によって支えられてきたことを再確認しました。通年事業としては、前年度同様「地域コミュニケーション講座」や新宿区社会福祉協議会との共催事業「聞こえに関する連続講座」を開催し、地域での中途失聴・難聴者の自立のための学習活動を実施しました。また、例年通り「高齢難聴者生きがい講座」、「手話講習会応用クラス」、「実践読話講習会」などを開催しました。高齢難聴者の憩いの場として「手を動かそう」を毎月 1 回開催しています。例年協会が実施するこれらの講座、講習会などは中途失聴・難聴者が互いの交流を通じて学習を重ねる活動の「場」として実績を積み上げていると評価することができます。

また、今年度は公益財団法人日本社会福祉弘済会の助成でシンポジウム「聞こえの問題を考える」を開催、日本財団の助成で「豊かなコミュニケーション」指導の手引き〈初級編、中級編、上級編〉の作成、公益財団法人森村豊明会の助成で「読話テキスト」の作成をしたことは前述のとおりです。また、耳マーク普及活動の一環として缶バッジを作成致しました。

その他、協会各専門部も個別の活動の中で協会の事業目的の達成に努力し、サークルは協会員の交流の場として非常に大きな役割を果たしました。非協会員や支援いただく人への働き掛けなど多くの課題を抱えています。今後とも専門部・サークルの活動を中途失聴・難聴者の自助・共助の「場」として強化していきたいと考えます。

3.2 組織強化

協会は4年前に協会組織強化のために事業委員会・広報委員会・防災委員会の三つの専門委員会を設置しました。今年度の事業委員会では、既存の協会事業の着実な実行を進めると同時に、新規助成事業の実施を担いました。広報委員会では協会ニュースの見直しを進めると同時に、協会ホームページの更新を行いました。専門部・サークルの活動についてはそれぞれの報告に記載がありますが、各専門部のあり方については活動目的・運営について様々な課題が顕在化してきており、協会活動に必要な専門部のあり方について、平成29年度の重要な検討課題として議論する計画をしております。

3.3 協会財政

平成28年度は第2号議案の収支決算報告にありますように、予算825千円の赤字に対して、辛うじて166千円の黒字計上となりました。数年来の課題となっています会員拡大に関して、各種の講座・講習会や協会内外の集まりで協会紹介パンフレットを活用した会員の拡大を図ると同時に、リニューアルした協会ホームページを活用した協会紹介・入会PRを行った結果、平成28年度の会員数は目標668名に対し690名に増えました。特に、今年度は賛助会員の増加が目立ちました。来年度以降、「協会パンフレット」、「協会ニュース」、「協会ホームページ」を活用して協会内外に積極的な会員増加活動を行い、会員数をさらに増やすように考えます。また、「豊かなコミュニケーション」、「聞こえのハンドブック」などの物品販売については、引き続き拡販体制を整備してまいります。

4. まとめ

協会は認定NPOの資格を得て4年目となります。認定NPOになると、事業のあらましや寄付金の状態を所轄官庁である東京都に毎年報告する必要があります。今年度の新規助成の獲得にあたっては、認定NPOの資格をもった協会に対する社会的信用が大きく貢献しました。しかし財団助成を継続的に受けるためには、実施した事業の評価がどのようなものであるかが大きく問題となります。協会は定款第3条にあるように、地域社会に貢献することを目的としています。会員の自助・共助の場であることも大事ですが、これからも協会の活動の透明性を高めること、対外的な情報発信を強めることが非常に重要になってきます。私たちの毎日の協会活動をもっと楽しく、拡がりのあるものとするのが、社会への働きかけを一層強めることとなります。

事業報告(一覧)

1. 特定非営利活動に関わる事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	人数
中途失聴者、難聴者の社会参加のための調査・研究、施策のための提案事業	人工内耳入門講座	平成 29 年 2 月 12 日	国分寺労政会館	79
	福祉対策・コミュニケーション関連部活動	年間	東京都障害者福社会館 他	631
中途失聴者、難聴者のコミュニケーションの充実のための社会教育事業	聴覚障害者コミュニケーション教室	月 1 回、年間 9 回	東京都障害者福社会館	269
	実践読話講習会	月 2 回、年間 17 回	東京都障害者福社会館	313
	地域コミュニケーション啓発講座	年間 5 回	多摩市・杉並区・品川区・江戸川区・都内全域対象	116
	地域福祉相談支援ゼミ	年間 20 回	東京都障害者福社会館	361
	応用手話講習会	月 2 回、年間 20 回	多摩障害者スポーツセンター他	310
	新宿区社協共催事業	年間3回	新宿区社会福祉協議会	59
	シンポジウム「聞こえの問題を考える」	年 1 回	国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟小ホール	82
	「豊かなコミュニケーション」指導の手引き作成	年間	当会事務所	100
	「読話テキスト」作成	年間	当会事務所	100
	「聞こえに困ったら」作成	年間	当会事務所	100
	手を動かそう	年間 12 回	東京都障害者福社会館	189
講師等派遣	東京手話通訳等派遣センター・新宿区社協・町田市社協・東京都心身障害者福祉センター他		38	
中途失聴者、難聴者の諸問題の解決のための情報収集、提供事業及び他団体との連絡調整	「協会ニュース」発行	月 1 回	当会事務所	150
	テキスト・ビデオ作成	年間	当会事務所 他	10
	ホームページ運営	随時更新	当会事務所	36
	刊行物・耳マーク仕入れ	年間	当会事務所	36
	第 31 回集い	平成 28 年 9 月 24 日	タワーホール船堀	396
中途失聴者、難聴者にかかわる相談、支援事業	高齢難聴者生きがい講座	年 12 回	東京都障害者福社会館	260
	中途失聴者・難聴者相談事業	随時	当会事務所	50
	中途失聴者・難聴者地域支援事業	随時	当会事務所	100
中途失聴者、難聴者の文化・芸術、スポーツの振興を図る事業	文化部各サークル 等	月 1～2 回	東京都障害者福社会館 他	1200
コーディネーター	高齢難聴者生きがい講座・実践読話講習会・地域コミュニケーション啓発・地域福祉相談支援ゼミ等事業計画・進行管理・会計処理・事務処理	平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日	当会事務所	238

2. 収益事業

自動販売機による委託販売（7か所8台）

東京都庁第一本庁舎鍛冶屋橋クラブ・東京都江戸博物館・東京都第五建設事務所・東京都七生福祉園、東京しごと財団（2台）・東京都第六建設事務所・東京都多摩職業能力開発センター八王子校

事業報告

事務局

1.体制

事務局長：宇田川芳江 職員：石田豊子、井田いく子、木村朋子、坂部美秋、松枝朋美、百瀬静江

2.活動報告

- ・理事会(4/23・5/28・6/25・7/23・8/27・9/17・10/22・11/19・12/24・1/28・2/25・3/25)
- ・東京都福祉保健局との懇談会 7/7 (38人)
- ・人工内耳入門講座 2017/2/12 (79人)
- ・新宿区社会福祉協議会共催事業「聞こえにくい方とご家族・支援者のための講座～聞こえに困ったら～」
11/5・12/10・2017/1/28 (59人)
- ・「手話・字幕付胃検診」受付 9/3(18人) 12/3(14人)
- ・高齢者対象「手を動かそう」月1回第1金曜日12回実施。参加者(延189人)
- ・協会ニュース発送 毎月1回 第2土曜日12回 会員有志の協力(延96人)
- ・「第46回耳の日記念文化祭」参加 3/4・3/5
- ・「自立支援センターまつり」参加 7/18
- ・スタッフ研修会 7/5(36人)
- ・例会 毎月第4日曜日12回

実施日	テーマ	参加者
4月24日	平成28年度東京都意思疎通支援事業説明会	27
5月22日	通常総会	82
6月26日	講演会「楽しい手話の学び方、家族に聴覚障害者がいること」	90
7月24日	講演会「パラリンピックを知ろう」	27
8月28日	協会と私	24
9月24日	第31回東京都中途失聴・難聴者の集い	396
10月23日	新入会員説明会&交流会	54
11月19日	バリアフリー映画を普及させよう	20
12月25日	クリスマス会	47
1月22日	講演会「世界を知ろう、学ぼう、飛び立とう」	38
2月26日	講演会「考えてみよう、まちづくりのルール」	17
3月26日	講演会「知っていますか、要約筆記のこんなこと」	21

事業委員会

1.体制 委員長：新谷友良 委員：宇田川芳江・大江千枝・小笠原晶子・小橋由里子

2.活動報告

(1)委員会開催 4/20・5/18・6/8・7/20・8/24・9/21・10/19・11/9・12/14・1/18・2/23・3/23

(2)関係会議等 4/5(講座運営スタッフ研修) 9/17(事業運営担当者懇談会)

3.事業報告

I 助成事業

(1)日本財団助成事業「豊かなコミュニケーション」指導の手引き【初級編・中級編・上級編】作成 1000部

- ・編集:橋本美知子、坂山巳世、長沼知子、小橋由里子(委員)
- ・監修:小林順子 会計:中村みずほ

(2) 日本社会福祉弘済会助成事業 シンポジウム「聞こえの問題を考える」

- ・会場:国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟小ホール
- ・日時:平成28年10月29日(土)13:30~17:00
- ・参加人数 82名

講演者	テーマ	
馬屋原邦彦氏	聞こえと難聴、人としての成長	大阪河崎リハビリテーション大学 リハビリテーション学部 言語聴覚学専攻
杉内智子氏	耳の病気と医療	自由が丘杉内医院 院長 耳鼻咽喉科専門医
宇田川芳江	コミュニケーションを図る為に聴覚保障と視覚情報の活用	東京都中途失聴・難聴者協会 副理事長
三宅初穂氏	コミュニケーション支援 音声情報バリアフリーと要約筆記	全国要約筆記問題研究会 理事長
座長:新谷友良		東京都中途失聴・難聴者協会 理事長

(3) 公益財団法人森村豊明会助成事業「読話テキスト」作成

- ・編集:新谷友良・宇田川芳江・大江千枝・三宅初穂
- ・監修:濱田豊彦氏

II 協会委託事業の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

- ①実践読話講習会
- ②高齢難聴者生きがい講座
- ③地域福祉相談ゼミ
- ④地域コミュニケーション啓発講座(運営担当:組織部)
- ⑤聴覚障害者コミュニケーション教室(東京都委託事業)

III 協会自主事業の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

- ①手話講習会応用クラス
 - ②手を動かそう講座
 - ③新宿区社会福祉協議会共催事業
- ・会場:新宿区社会福祉協議会 地下会議室 14:00~16:00

	年月日	内容	講師
1	11月5日(土)	耳の仕組みと難聴	齊藤秀行
2	12月10日(土)	中途失聴・難聴者とコミュニケーション	坂山巳世
3	1月28日(土)	聞こえなさを聞きづらさにしないために	木村昭夫・渡辺江美

IV 各種講習会・講座への講師・スタッフ派遣の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

- ①東京都中途失聴・難聴者手話講習会
- ②東京都読話講習会

【中途失聴・難聴者のコミュニケーション充実のための社会教育事業】

①高齢難聴者生きがい講座

平成28年6月27日(月)~平成29年3月27日(月) 原則第4月曜日12回

対象者: a 東京都内にお住まいの高齢難聴者の方 b 原則として55歳以上、どなたでも参加頂けます
c 身体障害者手帳の有無を問いません、ご家族同伴も歓迎します 各回定員30名

会場:東京都障害者福祉会館

運営委員:関根一喜 スタッフ:今井節子・長内節子・早坂信子

回	年月日	内容	担当
1	2016/6/27	開講式・自己紹介	
2	7/25	講演会	講師:森せい子氏(情文センター)
3	8/22	手話入門講座①	講師:中村みずほ氏
4	9/26	手話入門講座②	講師:中村みずほ氏
5	10/24	サークル体験講座	手話サークル三田・夜 書道サークル
6	11/14	サークル体験講座	手話コーラスすみれ会 多摩手話サークル
7	11/28	手話紙芝居	ボランティアグループわノ会
8	12/19	読話講座①	講師:大江千枝氏
9	2017/1/23	読話講座②	講師:大江千枝氏
10	2/13	サークル体験講座	絵手紙サークル
11	2/27	サークル体験講座	手話サークル三田・昼 読話サークル
12	3/27	修了式・交流会	

②手話講習会応用(三田Ⅰ/Ⅱ・多摩Ⅰ/Ⅱ)

◇三田応用Ⅰ/Ⅱ 平成28年4月28日～平成29年3月14日 計20回

会場:東京都障害者福祉会館

講師:明田美奈子・長沼知子

参加者数【応用Ⅰ】受講者24人(延人数361人) 【応用Ⅱ】受講者20人(延人数310人)

◇多摩応用Ⅰ/Ⅱ 平成28年4月26日～平成29年3月14日 計20回

会場:多摩障害者スポーツセンター

講師:岡田恵美子・永井邦子

参加者数:【応用Ⅰ】受講者20人(延人数220人) 【応用Ⅱ】受講者7人(延人数90人)

③実践読話講習会

平成28年5月18日(水)～平成29年2月15日(水)毎月第1・3水曜日18:30～20:30

年間17回(開講式・修了式・特別講演会・体験談1回を含む)

会場:東京都障害者福祉会館 B1

講師:大江千枝 助手:石井やい子・佐々木紀子

参加者数 受講者22人(延人数313人)

④東京都中途失聴・難聴者手話講習会

⑤地域福祉相談支援ゼミ

⑥講師派遣事業

1)東京都相談支援従事者初任者研修(6/30)

2)所沢市中途失聴者や難聴者のための手話講座(読話指導)(10/20,10/27)

3)多摩市要約筆記者研修(4/30)

4)東京都手話通訳等養成講習会(7/20,8/3)

5)千葉県要約筆記者養成講習会(9/28,10/5,10/12,10/18,10/25,11/2)

6)茨城県中途失聴・難聴者コミュニケーション講習会(読話指導)(8/27)

7)東村山市「聞こえにくい人とのコミュニケーション講座」(2/7)

8)長野県難聴者向け手話講習会(9/11,9/12)

9)中野難聴「みんなのきこえ学習会」(9/10,11/12,1/14,3/11)

10)町田市登録要約筆記者・手話通訳者合同技術研修(10/18)

11)町田市要約筆記者養成講座(11/3)

12)消費者関連専門会議(ACAP)(11/24)

13)東京高等裁判所接遇研修(2/13,3/1)

⑦新規自主事業の開発について

○助成事業

- 1) 公益財団法人日本社会福祉弘済会助成 シンポジウム「聞こえの問題を考える」
- 2) 公益財団法人日本財団助成「豊かなコミュニケーション」指導の手引き〈初級編、中級編、上級編〉作成
- 3) 公益財団法人森村豊明会助成で「読話テキスト」作成

⑧その他

新宿区社会福祉協議会共催事業への提案 3回開催

広報委員会

NPO法人にふさわしい広報活動に向け、協会の広報媒体を見直し、刷新に努めた。

1. 体制

委員長: 新谷友良 委員: 小島敦子・寺田翔・皆川みさ子・山内菜央子 事務局: 宇田川芳江

2. 活動報告

- (1) 委員会を開催した。4/14・5/12・6/9・7/14・9/8・10/13・11/10・1/7・2/11・3/3
- (2) 「協会ニュース」について、会報編集部と内容・編集作業の見直しを進めた。
- (3) 協会ホームページについて、リニューアル後のさらなる充実を図るための話し合いを進めた。
- (4) 啓発パンフレットの作成について、話し合いを行った。

防災委員会

1. 体制

委員長: 木村昭夫 委員: 小川光彦・平野英夫・松之木礼毅

2. 取り組み状況

1) 会議の実施

- ・委員会開催 毎月1回平日夜間開催
- ・全要研東京支部減災支援隊と合同協議

2) 企画の実施

2月12日企画 難聴防災第2弾「災害発生!!手近なもので自分を守れ!!」

国士舘大学防災救急救助総合研究所 月ヶ瀬恭子氏

3) 委員会内重点課題

①NTTDoCoMoとのヒアリング

エリアメールアプリの実証実験として聴覚障がい者むけの機能の試作の検討
第1回5/12 第2回10/31 実施

②協会ニュース寄稿

防災意識を高めるための掲載3回(9月号、11月号、1月号に掲載)

③委員の各自自主啓発

地元防災訓練参加

備蓄キャラバン参加

豊洲防災 EXPO 参加

DPI日本会議 全体会「インクルーシブな防災」出席他

福祉対策部

1. 体制

部長: 小川光彦 副部長・会計: 宮本忠司 構成人数: 4人

2. 活動報告

1) 協会内部

- ・部会実施 4/13、5/11、6/8、7/13、8/18、9/15、10/13、12/8、1/26、2/23、3/16の11回
- ・施設・交通アクセシビリティ活動
アクセシビリティ関連事例の収集

Facebook ページにアクセシビリティ事例の蓄積

- ・ふくしのまちづくり条例についての学習
連続学習会(8/26,9/30,10/28)開催
2/26 例会に東京都の鈴木俊宏主任を呼んで講演、学習
- ・UDcast の学習
- ・参政権状況のチェック
- ・協会ニュースへ随時福祉関係情報提供
- ・その他協会諸行事の実施協力

2) 協会外部

- ・7/7 東京都予算交渉懇談会 要望案

3. 反省点

- 1) 施設・交通アクセシビリティをメインテーマとして活動することを再確認し、2月例会や東京都への要望を目標に進めることができたのはよかった。
東京都福祉のまちづくり条例に関して継続学習し、今後の要望行動につなげたい。
- 2) 年度当初、会員啓発目的のコミュニケーションツール活用学習会を年4回開催する案があったが、体力不足で完遂できなかった。
内容変更し、施設・交通アクセシビリティテーマの学習会として3回実施した。
- 3) 協会財政状況を考慮し、行事開催にあたって部の独自収入をはかり、部の運営維持、効果的な事業実施に努めている。継続する。
- 4) 音声認識について
会員のコミュニケーションツール活用のニーズ、特に音声認識活用の希望が多い。27年度学習会を開催したが、部で継続して実施できるようにしたい。

要約筆記普及部

1. 体制

部長:森岡見帆 部員:4人

2. 活動報告

- (1) 部会開催 5/24, 6/16, 7/12, 9/20, 10/18, 12/13, 2/14
- (2) 連続講座「今後の要約筆記事業についての提言を学ぶ」(11/17, 12/1)
講師:(1回目)新谷友良氏, (2回目)三宅初穂氏 参加者:延べ50名(2日間)
- (3) 登要会との交流会(H29.1/14) 場所:キムラヤ(港区勤労会館)参加者29名
- (4) 全難聴要約筆記研修会 in 東京(H29.1/8-9)部員3名全員が参加
- (5) 3月例会担当(3/26) 「知っていますか 要約筆記のこんなこと」
パネリスト:宇田川副理事長、小笠原晶子氏(司会進行)皆川みさ子氏

手話対策部

1. 体制

部長:明田美奈子 副部長:井上順子 会計:今井節子 部員:23名

2. 活動報告

- (1) 定期部会 毎月第2月曜日 18時30分～ 協会からの情報提供や報告
- (2) 年1回部員研修、一般会員への部員によるミニ手話講座開催
- (3) 年2回広域範囲でろう講師による手話学習会 参加費:1,000円徴収 収益は協会へ還元
- (4) 月1回部員による自主学習会(講師:板宮由美子氏) 参加者13名前後 参加費:1回1,000円
- (5) 協会主催行事への協力

28年度活動内容					
回	日程	出席者	参加者	内容	摘要
1	4/11	16名		定期部会	連絡網体制、年度企画の話合い
2	5/9	16名		定期部会	情報提供、報告、総会出席協力要請

3	6/13	15名		定期部会	ミニ手話講座(9月13日)について担当等決める。
	6/26		80名	協会例会担当	谷千春氏講演会
4	7/11	17名		定期部会	高井洋氏による部内研修
5	8/8	14名		定期部会	ミニ講座担当グループ、講師、助手等の決定 例文作成
	8/21	51名	51名	特別講演会	ろう講師;那須英彰氏による手話学習
6	9/5	12名		定期部会	ミニ手話講座の打合せ、手話表現の練習
	9/11		28名	ミニ手話講座	部員によるミニ手話講座(7グループ編成)
7	10/17	10名		定期部会	情報提供、報告、11月例会担当について話し合い
8	11/14	16名		部内研修	講師:三宅初穂氏
9	12/12	11名		定期部会	特別講演会、29年度企画について
10	1/16	7名		定期部会	特別講演会について他
11	2/5		78名	特別講演会	ろう講師:那須善子氏による手話学習
	2/13	12名		定期部会	次年度役員選出
12	3/6	13名		定期部会	29年度役員体制、活動計画話し合い

会報編集部

1. 活動報告

(1)会報「協会ニュース」の編集(毎月第2土曜日発行)

(2)編集会議 5/11 6/8 7/13 9/14 10/12 11/9 12/14 1/11 2/8 3/8

4月・8月メール会議

(3)初校校正 4/27 6/1 6/29 8/3 8/31 9/28 11/2 11/30 12/27 2/1 3/1 3/29 (全12回)

組織部

1. 地域ネットワーク活動

(1) ネットワーク・ニュース:平成28年1月より休刊。平成29年1月再開101号を発行

(2) ネットワークメンバー:平成29年3月末現在メンバー数70人

2. 地域コミュニケーション講座の開催

地域ネットワークの活動に平行して、地域での聞こえに困っている方を対象にその社会参加を促す地域コミュニケーション講座を以下5箇所で開催しました。

	多摩地域	杉並区	品川区	江戸川区	都内全域
開催日	2016・7・9	2016・8・20	2016・11・5	2017・2・18	2017・3・11
開催場所	多摩障害者スポーツセンター	高円寺障害者交流館	品川区立心身障害者福祉会館	江戸川区グリーンパレス	東京都障害者福祉会館
共催地域団体	—	杉並区中途失聴・難聴者の会	品川区中途失聴・難聴者ひばりの会	江戸川区中途失聴・難聴者の会	—
テーマ	読話にチャレンジしましょう!	伝えていますか 伝わっていますか	聞こえないことと向き合う	日常の聞こえにくさを考えてみよう	地域を語り合う会
講演・講師	大江千枝氏	皆川みさ子氏	宇田川芳江氏	森 せい子氏	—

3. 協会例会として、10月23日、新入会員説明会・交流会を担当しました。

4. 上記事業計画を実行するため、月1回の組織部会を開催しました。

実年部

1. 体制

部長:関根一喜 部員:長内節子・幡山温子・吉田桂子

2. 活動報告

- ①役員会:原則毎月第一木曜日
- ②月例会:原則毎月第三金曜日
- ③協会ニュース、実年部のページに月例会の予定を掲載する他、チラシで参加を呼びかける
- ④年に1回、協会の例会を担当
- ⑤協会行事(総会・集いクリスマス会)への参加協力
- ⑥室内例会の会場は東京都障害者福祉会館

例会実施内容

例会日	内 容	人数
4月15日	講演会「消費生活トラブルへの対処法」岩澤禮子氏	26名
6月17日	小網代の森	28名
7月15日	「映画上映会」	23名
9月	中難協・集い	
10月21日	葛西水族園とBBQ	15名
11月19日	協会例会協力「バリアフリー上映会&マルシェ」	
1月20日	初詣 九品仏浄真寺と新年会「楽宴」	22名
2月17日	講演会「手話をもう一度2」中村みずほ氏	36名
3月17日	「聴覚障害者と結婚して」藤澤成光・美砂子夫妻	34名

女性部

1. 体制

部長:明田美奈子 副部長:渡辺江美 会計:樋口真弓 記録:高田香苗

2. 活動報告

月日	内 容	場 所	参加人数
4月7日	部会議	東京都障害者福祉会館	3
4月23日	打合せ(字幕付き落語)	東京都障害者福祉会館	4
5月16日	部会議	東京都障害者福祉会館	3
5月28日	打合せ(字幕付き落語)	東京都障害者福祉会館	4
6月2日	部会議	東京都障害者福祉会館	3
7月2日	字幕付き落語	東京都障害者福祉会館	37
7月7日	部会議	東京都障害者福祉会館	3
8月4日	部会議	東京都障害者福祉会館	3
8月6日	折り紙・納涼会	東京都障害者福祉会館	19
8月13日	スカイツリー下見	東京スカイツリー	4
9月1日	部会議	東京都障害者福祉会館	2
9月15日	スカイツリー下見	東京スカイツリー	3
9月24日	打合せ(関東ブロック研修)	デニーズ船堀店	3
10月1日	関東ブロック研修会	東京都障害者福祉会館 東京スカイツリー	60 35

10月6日	部会議	東京都障害者福祉会館	2
10月22日	打合せ(首飾り作り)	東京都障害者福祉会館	3
11月3日	部会議	東京都障害者福祉会館	3
11月5日	首飾り作り	東京都障害者福祉会館	11
11月17日	部会議	東京都障害者福祉会館	4
11月26日	打合せ(マジック←次年度)	東京大学	2
12月1日	部会議	東京都障害者福祉会館	3
12月3日	お楽しみ会・米内山氏講演	東京都障害者福祉会館	36
1月5日	部会議	東京都障害者福祉会館	4
2月2日	部会議	東京都障害者福祉会館	4
2月4日	お楽しみ会・脳トレゲーム	東京都障害者福祉会館	11
3月2日	部会議	東京都障害者福祉会館	4

青年部

1. 体制

部長:石川寛和 副部長:酒井宏長(兼会計)・高野悠人 企画:藤嶋慶太・藤中辰郎 相談役:寺田翔

2. 活動報告

4月	お花見@新宿御苑
6月	Lunch会@中目黒
7月	「みんな de ディスカッション」@センターまつり
9月	手話勉強会&交流会@三田
10月	Dinner会@池袋
11月	料理勉強会@三田 TOKYO手話カレッジへの協力@首都大学東京
12月	東聴連青年部と合同交流会@新宿 Xmas会@新宿
1月	例会「世界を知ろう!学ぼう!飛び立とう!」開催
3月	耳の日文化祭への協力@三田

文化部

【手話サークル 三田昼】

1. 体制

代表:中村麻子 副代表:井上政枝 会計:田原達代・長尾征子 総務:谷川キミコ・貝良塚ムネ

2. 活動日 毎月第2金曜日・土曜日(13時30分~15時30分) どちらか選び参加

毎月第4土曜日・合同日(10時00分~12時00分)

3. 講師:第2金曜日・土曜日:五十嵐郁子先生

第4土曜日・合同日:中村みずほ先生

4. 会員:70人

5. 内容:手話学習・8月ランチ付き交流会・12月クリスマス交流会

【手話サークル 三田夜】

1. 体制

(1)運営委員 代表-有我きよみ 副代表-加藤毅 総務-沖田健吉 会計-鶴岡浩 補佐-有我久雄
会計監査-関根一喜

(2)指導者 ふくろうクラス:宮本正明氏 みみずくクラス:伊勢正子氏

(3)会員 44名

2. 活動報告

(1)活動日 毎月第1・第3土曜日、午後6時~8時

- (2)活動内容 手話の学習と交流を通じて、会員相互の理解と親睦を深める
- (3)手話学習会 年間 20 回(後期に両クラス合同で「東京防災」の学習実施)
- (4)親睦会 納涼会、秋の1泊旅行、忘年会、初詣(七福神めぐり)、新年会

【多摩手話サークル】

1. 体制

代表:志村瞳 副代表:青木房子 会計:島田律子 部員:24人

2. 例会日 毎月第2、第4木曜日

3. 会場 東京都多摩障害者スポーツセンター 時間 午後1時30分～3時30分

4. 活動報告

4/14(総会)・4/28・5/12・5/26・6/9・6/23・7/14・7/28(講演会)・8/11(夏休み)・8/25(納涼会)・9/8・9/29・10/13・10/27(野外活動)・11/10・11/17・12/8・12/22(クリスマス会)・1/12・1/26・2/9・2/23(反省会)・3/9・3/23(役員改選)

【多摩火曜手話サークル】

1. 体制

代表:中尾ミヨ 会計:草間友子 運営委員:平高真澄・小机淑子・渡辺恭子・佐藤美奈

2. 講師:真藤千枝先生 会員数:34名

3. 会場 東京都多摩障害者スポーツセンター

4. 例会日 毎月 第1・第3火曜日 午後1時30分～3時30分

5. 活動内容

4/5 手話は「目で見る言葉」見て分かる表現を 4/19 第11回定期総会 4/17 ペアで会話「どう表現したら伝わるか工夫」① 6/7 ペアで会話「どう表現したら伝わるか工夫」② 6/21 マスを埋めるクイズ 四字熟語作成 7/5 ペアで会話「どう表現したら伝わるか工夫」③ 8/19 マスを埋めるクイズ 四字熟語作成立川柴崎学習館 9/6 ペアで会話「どう表現したら伝わるか工夫」④ 10/4 ペアで会話「どう表現したら伝わるか工夫」⑤ 立川柴崎学習館 10/18 マスを埋めるクイズ 四字熟語作成 11/1 ペアで会話「誰が誰に!を分かるように表現」① 11/15 短文の表現練習 12/6 マスを埋めるクイズ 二字熟語作成 12/20 クリスマス交流会 1/17 ペアで会話「誰が誰に!を分かるように表現」② 立川高松学習館 2/7 マスを埋めるクイズ クロスワードクイズ 2/21 ペアで会話「誰が誰に!を分かるように表現」③ 3/7 短文の表現練習

【三田書道サークル】

1. 体制

代表:片山善衛 執行委員:金森滯子 会計:小沢宏之 部員:10名

講師:木下修子(書道師範)

例会:毎月第1・3木曜日 午後1時30分～4時

会場:東京都障害者福祉会館

2. 活動報告

中国、日本の古典名筆の臨書を基本に学習。9月協会の集いと3月耳の日記念文化祭で作品の展示。9月生きがい講座で体験学習を実施して好評を得た。

【生け花教室】

1. 体制 代表:飯野堯子 副代表:中村久実子 部員:7名

活動日 毎月第1・3水曜日(月により第2・4水曜日に変更あり) 午後6時～9時(この間はお稽古自由)

場所 東京都障害者福祉会館

2. 活動報告

今年も「耳の日文化祭」に出展できました。日頃の成果をご来場いただいた方々に観ていただき、春の息吹を感じていただけたと同時に、出展者にとり今後のお稽古の励みになりました。

今年も代表が出展した松屋は、古流の基本を学び、各流派が一堂に会した新宿高島屋の花展では素晴らしい作品に刺激を受け大変勉強になりました。

【手話コーラスすみれ会】

1. 体制 代表:堀江晴子 副代表:山城志津子 運営委員:加藤津和子・所たづる・渡辺敏子 会員:13名
2. 例会 第1・第3水曜日 午後1時30分～4時 東京都障害者福祉会館
3. 活動報告
活動歴20年。例会では毎回、会員の希望を取り入れ、リクエスト数曲を選び、季節感を主に手に歌を載せて楽しんでいます。例会後のミーティングタイムでは今後の計画を話し合う機会となっています。恒例になった一泊旅行は10月に伊豆下田温泉で親睦を深め思い出の旅となりました。

【三田絵手紙サークル】

1. 体制
代表:片山善衛 執行委員:堀川すみれ 会計:香月恵美子 部員:14名
講師:石井幸子(日本絵手紙協会講師)
例会:毎月第2木曜日 午後1時30分～4時 会場:東京都障害者福祉会館 月謝:500円/月
2. 活動報告
毎月季節の行事や自然の山河草木や野菜、果物など、また会員の好きなテーマで絵を描き、知人、友人宛にポストインする楽しむ学習をしている。9月協会の集いと3月耳の日記念文化祭で作品を展示。9月生きがい講座で体験学習を実施して好評を得た。

【読話サークル】

1. 体制
代表:沖田健吉 会計:井上春江 副会計:石井やい子 窓口:入月幸子 委員:大江千枝
2. 活動日 毎月第2・4水曜日 18:30～20:30 場所:東京都障害者福祉会館 B1
3. 活動報告 4/13 4/27 5/11 5/25 6/6 6/22 7/13 7/27 8/24 9/14 9/28 10/12 10/26 11/9 12/14
1/11 1/25 2/8 2/22 3/8 3/22

【昼の読話サークル】

1. 体制
会計:岡見栄子 副会計:窪田陽子 委員:小林俱子・田中一江・高井和江
2. 活動
・第1・第4水曜日 14:00～16:00
4/6・4/27・5/18・5/25・6/1・6/22・7/6・7/27・8/10(学習と交流会)・9/7・9/28・10/5・10/26・11/2・11/16・12/7・12/21・1/11・1/25・2/1・2/22・3/1・3/22

【天文サークル オリオンの会】

1. 体制 代表:藤田克己(12月まで) 会員4名
2. 活動
①多摩六都館訪問 6/2
②部会2回(5/12、7/14)
部員の減少のため活動の存続が難しくなりました。2016年度で活動を終了します。